



日蓮宗の大本山・誕生寺



鯛の浦



旧水田家住宅主屋



大役を終えて…



グラビア

2 外国人観光客の誘致作戦

46 都道府県漫遊●熊本県

47 手前みそですが…●岩手県遠野市



暗唱した経文を唱える稚児たち

千葉県鴨川市の小松原山鏡忍寺で十二月一日、日蓮上人を法要する御会式が営まれた。毎年四月と十二月に行われる年中行事で見どころは、鮮やかな衣装をまとつた女児七人が近くの上人塚から鏡忍寺境内まで、住職らに伴われて歩く稚児行列。同日はあいにくの雨模様。地区内の行列は取りやめたが、稚児らは境内の祖師堂につながる長い回廊を一列になつて御会式へ。稚児たちの出番がくると、暗唱した経文を順番に唱え、最後に「童子」と呼ばれる年長者が、日蓮上人の歴史と感謝の言葉が書かれた「祭文」を読み上げた。

最近は少子化もあって、対象となる四七歳くらいの児童は減少傾向で、参加する女児を探すのもひと苦労のようだ。それで最も「稚児になると丈夫に育つ」といわれ、この日も元気な声がお堂に響き渡った。

鴨川市には、日蓮生誕の地を記念して一二七六年に建てられた日蓮宗の総本山誕生寺のほか、付近には天然のマダライが群泳することで知られる鯛の浦などがある。

●文=原田 ●カメラ=小形又男

表紙||鏡忍寺の御会式（稚児行列）

(千葉県鴨川市)